

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	3R推進事業				②事業番号	3302	
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	平成	4	年度
⑤終了予定年度	年度		〇	設定なし			
⑥根拠法令等	法令	〇	〇	〇	〇	〇	〇
⑦実施手法	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
⑧関連予算科目コード	款	4	項	2	目	2	細目
⑨担当部署	市民生活環境部		⑩担当課名	清掃課		会計	一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 人口	人
② 資源ごみ総量	② 資源ごみ量(収集+集団回収)	t
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
ごみ減量・リサイクルへの取組を促進するために、概ね10世帯以上の市内の自治会、子供会、婦人会、老人会等の営利を目的としない住民団体で、1年間において4回以上集団回収を実施する団体に、回収量(新聞、雑誌、ダンボール、衣服、古着、牛乳パック、アルミ缶)1kgあたり4円の報奨金を交付する。 生ごみの減量を促進するために、電気式生ごみ処理機器を購入した世帯に対し、購入金額の2分の1(上限2万円まで)補助金を交付する。 生ごみ処理機器の利用を促進するために、生ごみ乾燥処理物と可燃ごみ指定袋との交換を行う。 (処理機器購入補助金を申請、交付されている方に乾燥処理物1kgと指定袋100枚と交換)	① 集団回収実施団体	団体
	② 生ごみ処理機器購入世帯	世帯
	③ 乾燥処理物と指定袋の交換世帯	世帯
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
リサイクル活動(3R)を推進とともにごみを分別する。	① 集団回収量	t
	② 集団回収率	%
	③ 生ごみ乾燥処理物交換量	kg
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
ごみ減量化とともに再資源化を促進させ環境に優しい町づくりを推進する。	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	3 日常生活や事業活動などにおいてすべての市民・事業者が資源・エネルギーの利用などに配慮し、環境に負荷をかけないまちをめざします
	施策中	1 資源・エネルギー有効利用の推進
	施策小	2 再資源化の推進

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明	
対象指標① 人口	人	63,125	62,549	61,984	—	—	指標値の推移における 特殊要因などの説明	
対象指標② 資源ごみ量(収集+集団回収)	t	2,782	2,775	2,758	2,747	2,736		
活動指標① 集団回収実施団体	団体	85	85	86	89	94		
活動指標② 生ごみ処理機器購入世帯	世帯	9	6	9	10	10		
活動指標③ 乾燥処理物と指定袋の交換世帯	世帯	17	16	19	20	20		
成果指標① 集団回収量	t	919	838	827	850	902		
成果指標② 集団回収率	%	33	30	30	31	33		
成果指標③ 生ごみ乾燥処理物交換量	kg	131	93	113	117	122		
事業費	投入人員	人	1.90	1.80	1.62	1.80		事業費などの推移における 特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	15,261	14,454	13,133	14,593	事業費などの推移における 特殊要因などの説明	
	直接事業費	千円	3,847	3,462	3,463	4,000		
	総事業費	千円	19,108	17,916	16,596	18,593		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	台風第21号災害対策 により人員が減少	
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	19,108	17,916	16,596	18,593		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	ごみの減量とリサイクルの推進を目的として実施。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化しましたか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	市民のごみ分別意識は向上し、リサイクルは浸透してきている。今後は食品ロスの周知徹底も行き、リデュースを推進することで、ごみの総排出量が減少する。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	使用済み乾電池回収ボックスの設置拠点数を5か所から18か所に増設。本庁ロビーの携帯電話回収ボックスの設置も継続。(スペシャルオリンピックス)

### 3. 事務事業の評価【CHECK】

#### [1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	3R運動を推進することで、ごみの減量、資源の再利用を図る。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	市民、事業者、行政のそれぞれが役割を認識し実践していく必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	近隣市町村でも同等の事業を行い、ごみの減量化に取り組んでいる。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	資源循環型社会の形成に取り組むといった、市民意識の高揚を阻害する。

#### [2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	集団回収実施団体は横ばい、回収量は徐々に減少。ごみ処理機の購入補助金申請件数は若干の増加。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	多くの市民に資源ごみの有効活用を促すため、あらゆる手段を用いて、周知及び啓発に努める。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

#### [3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

B

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	平成27年度に有価物集団回収報償金交付要綱の改定を行ったが、再度の見直しを行い、集団回収団体の拡充に取り組む。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

### 4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当
	A	引き続き、廃棄物の発生抑制、再利用、再生利用の3Rを推進する。また、有価物集団回収の拡充に取り組み回収量の増加に努める。 使用済み乾電池については、回収拠点の増設により前年比で回収量が4割増加。	B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

### 5. 改革、改善案【ACTION】

#### <今後の方向性>

<p><b>ア</b></p>	<p>ア. 現状のまま継続</p>	<p>イ. 見直しのうえで継続</p>	<p>ウ. 終了 ↓ ( ___ 年まで)</p>	<p>エ. 休止 ↓ ( ___ 年から)</p>	<p>オ. 廃止 ↓ ( ___ 年から)</p>
<p>&lt;今後の展開方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</li> <li>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</li> <li>c. 効率化する(コストを下げる)</li> <li>d. 簡素化する(規模を縮小する)</li> <li>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</li> </ul>					
①改革、改善の具体案、実施年度など		市の指定袋に、3R推進を標記し、周知することを検討する。			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		作成費など費用対効果を検証し予算を確保する。			